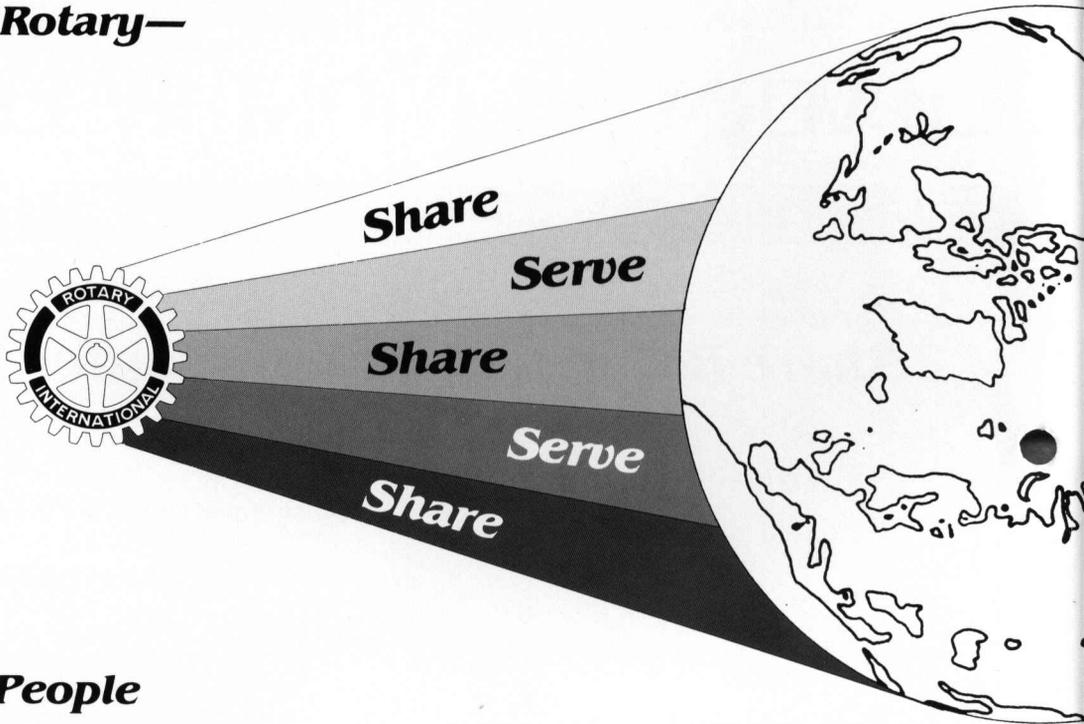


みんなにロータリーを

Share Rotary—



Serve People

みんなに奉仕を

1983-'84年度 国際ロータリーのテーマ

みんなにロータリーを——みんなに奉仕を

●あなたのクラブを通じて——

新会員を増やし、現会員を確保することによって； 新クラブのスポンサーとなることによって； 国の内外を問わず人々により多くの奉仕をする意欲を持たせるような毎週のプログラムを立案することによって； 地区大会に出席するクラブを増やすことによって； あなたの年度の新しい目的、目標を設定しそれにクラブの役員および会員の協力を得ることによって； 年度末にクラブの全会員を対象として、あなたの目的、目標をどの程度実現できたのかを評価する反省会を開くことによって。

●あなたの職業を通じて——

ロータリーの奉仕の理想を掲げ、推進することによって； 青少年のための職業情報および職業指導を強調することによって； 職業上の接触を通じて会員増強を奨励することによって； 新しい奉仕プロジェクトを始めることによって。

●地域社会のプロジェクトおよび活動を通じて——

地域の人々、特に障害者、高齢者、麻薬常習の青少年、身体的精神の問題を抱えた青少年、困窮者、孤独な人々、に奉仕することによって； 新たな奉仕プロジェクトを始めることによって； 新ローターアクトもしくはインターアクト・クラブを提唱することによって； 地域社会にロータリーは人々のことを思いやり、奉仕していることを知らせることによって。

●国際奉仕を通じて——

国際理解、親善、平和を真に推進、向上させるようなロータリー・プログラムおよび諸活動、例えば、ロータリー財団、3-Hプログラム、国際共同委員会、青少年交換、その他の国際ロータリーの各種奉仕プログラムにクラブが参加することを積極的に奨励することによって； 新しい国際奉仕プロジェクトを始めることによって； あなたのクラブを助け、奉仕の輪を広げることによって。



ロータリーを指導される親愛なる皆さん：

ロータリーは、人々への奉仕に通じる大いなる道であります。ロータリアンの方々がよく御存知のように人々に奉仕する最上の道は、自ら立ち上げられるように助けることです。そうすることによって、ロータリアンは、ひとたびこうと決心したならば、自分たちの地域社会、職業、世界を今までと違ったものにする事ができます。私達はいったん目標を決めたなら、必ずこれを成しとげ、時にはこれを超えることすらあります。私達は地域社会に、また、この世界に援助の手を求め人々がいる時には、少しでもお役に立ちたいと努めます。

ロータリー・クラブのあるところ、人々の生活は改善され、また向上します。

あなたがたのロータリー・クラブは、個々のロータリアンに内在する奉仕の力を発揮させる牽引車であります。個々のロータリアンはロータリーを必要とし、ロータリーはロータリアンを必要としています。多くの人々を会員にすることによって、今までにロータリーが成しとげた非常に大きな実績を何倍かに増大することができます。だからこそ私は、みんなにロータリーを広めることを要請しているのです。あなたがたがロータリーを広める時、あなたは人々に奉仕しているのです。この二つの目標は相携えて前進するものです。どちらも欠くことはできません。しかし、人々に奉仕するためには、みんなにロータリーを広めなければなりません。そこで私は本年度ロータリーの指導者として、あなたがたに一人でも多くの人をロータリーに入会させるよう努力して下さいとお願いします。あなたの創意を生かして下さい。時の試練を経た方法、新しいアイデアを活用して下さい。一層多くの人をあなたのクラブに迎えて下さい。ロータリーは、老若を問わず、あらゆる有用な実業および専門職業に携わる人を必要としています。そうすることによって、誰であろうと、何処であろうと一人でも多くのニーズに応えられるのです。

本年度が大きな成果をあげる年であることを希望します——会員増強に、地域社会の発展に、職業活動の充実に、国際的発展に。私達には牽引車があります。——ロータリーのプログラムという牽引車が——さればこそ私達の人道的目標が実現できるのです。しかしながら、みんなに奉仕するというこの目標を達成するには、共に手を携えてロータリーのプログラムを推進する多くのロータリアンを更に必要とします。さあ皆さん、みんなにロータリーを、みんなに奉仕を。

Bill Shelton

ウィリアム E. スケルトン

1983-84年度 国際ロータリー会長

1983-84年度 会長賞プログラム

そして

II. みんなに奉仕を

更に、次の7項目の目標の中、3項目に該当すること：

- A. 新職業奉仕プロジェクトを始めること；
- B. 新社会奉仕プロジェクトを始めること；
- C. 新国際奉仕プロジェクトを始めること；
- D. 新インターアクト・クラブもしくは新インターアクト・クラブを提唱すること；
- E. 青少年交換に参加すること；
- F. 地区大会におけるクラブ代表者数を昨年度を上回るものとする事；
- G. ロータリー財団への寄付額を昨年度の寄付額より10パーセント増やすこと。

地区ガバナーは、地区内のどのクラブが受賞資格を備えているか判断し、証明します。そして、R.I.事務局に受賞資格を備えたクラブとクラブ会長の名前を提出、報告しなければなりません。

(* 会員増の算出は、1983年6月30日から1984年6月30日までに増えた会員数に基づきます。)

地区ガバナーもまた、次の条件に適用場合、1983-84年度会長賞の受賞資格を持ちます：

- A. 地区内のクラブの50パーセント以上が前記表彰資格を備えていること、
または
- B. 地区が次の五つの目標の中、三つを達成すること：
 1. 地区内のクラブのロータリアン数が純5パーセント増加
 2. 地区内の平均出席率が3パーセント上昇
 3. 昨年度に比べ、地区大会の総出席者数が10パーセント増加
 4. 昨年度に比べ、地区協議会の総出席者数が10パーセント増加
 5. 昨年度に比べ、地区内のクラブのロータリー財団への寄付総額が少なくとも10パーセント増加

地区ガバナーは、以上の目標に到達次第、適切な概要書を提出しR.I.事務局に報告しなければなりません。その中には、受賞対象者であるクラブとクラブ会長の名前、地区目標に関する諸活動の詳細を記載します。

「みんなにロータリーを——みんなに奉仕を」は、会員増強というチャレンジと人々への奉仕という二つの意味を持つテーマです。このチャレンジに取り組み、「ロータリーを分かち合う」ことによって、ロータリアンとロータリー・クラブは「人々に奉仕すること」ができるのです。

1983-84年度会長賞プログラムは、ロータリー・クラブ会長にこのチャレンジを特別な方法で提起するものです。会長賞は、R.I.会長と地区ガバナーが署名し、次の目標を満したクラブ会長に贈られることになっています：

I. みんなにロータリーを

下記のいずれか一つの目標を満たすこと：

- A. * 次の目標に従って、あなたのクラブの純会員増を達成すること—

クラブの規模	純会員増
15名以下	1名
16-25名	2名
26-35名	3名
36-65名	4名
66名以上	5名

- B. 新ロータリー・クラブのスポンサーとなること。